

授業科目 NO. 104 医療倫理

Medical Ethics

授 業 の 形 態 : 講義
単位数 (時間数) : 1 単位 (15 時間)
開講年次・学期 : 1 年次・後期
必修・選択の別 : 必修
キ ー ワ ー ド : 規範倫理、医療倫理、看護倫理

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 修 目 標

1) 一般目標 (GIO)

講義では、はじめに医療倫理の歴史と現代倫理学の基礎理論について学ぶ。しかるのち、倫理理論の枠組みを医療の文脈に適用し、最新の医療行為の中で求められる倫理的判断について検討していく。各自が、医療トピックに関連する倫理問題について自ら判断し、その判断理由を自分自身の言葉で述べるようになることが、本講義の目標である。

自分の倫理的直観をガイドライン (倫理理論) にしたがって理由付けする練習をすることによって、患者や医療チームとのコミュニケーションに役立つ真に実践的な倫理観を身に着けることができる。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 現代の医療技術が引き起こした様々な倫理的問題を説明できる。(①、④)
- (2) 現代の医療制度が抱える様々な倫理的問題を説明できる。(①、④)
- (3) 看護倫理が医療倫理全体に占める特別な地位について説明できる。(①)

3 学 修 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	50%
実習成績	%
レポート	%
授業態度	10%
小テスト	%
その他（質問カード・感想カード）	40%
合計	100%

（特記事項）

【授業態度】（配点 10 点）普段の感想やコメントのほか、講義⑧の質問カードの感想欄（＝講義アンケート）を見て、総合的に評価する（講義に批判的だという理由で減点することはない）。他に普段の受講態度に基づいて、加点・減点することがある。【質問カード】（配点 40 点）講義終了後にその回で扱ったテーマについて考察を課す（講義①～⑧で各 5 点、合計 40 点）。【本試】（配点 50 点）質問カードで行ったトレーニングの成果を、応用問題を課して確認する予定。100 点満点で採点し、50 点満点に換算する。【配信についての注意】G クラスルームは Google 社のプログラムのバグにより、完璧に動作しない場合がある。よく見受けられるのは、提出したにも関わらず、「未提出」の表示が消えない事例です。「質問カード」を提出すると、その直後に自動的に返信メールが届く設定になっていますが、このメールを受け取れた場合は、無事に提出済みです。逆に、自動返信メールが届かない場合は、例えば「提出済」の表示が出ていても、未提出です。すぐに担当教員に連絡をとること（kh-honda@kanazawa-med.ac.jp）。この自動返信メールは、「提出」「未提出」の証拠となるので、学期が終わるまでは削除しないようにすること。【再試】ユニット試験で 60 点未満だった場合、または全体の合計点が 60 点未満だった場合、筆記試験（再試験）を課す予定。

5 教育担当者

科目責任者： 本田 康二郎

教 授 本田 康二郎（一般教育機構 医療人文学）

6 教科書

特に指定しない。（必要な資料は講義中に配布する予定。）

7 推薦参考書

- 1) 塩野寛、清水恵子 『生命倫理への招待 改訂 6 版』南山堂、2021 年
- 2) ビーチャム&チルドレス 『生命医学倫理 第五版』麗澤大学出版会、2009 年
- 3) 市野川容孝[編] 『生命倫理とは何か』平凡社、2002 年
- 4) 吉田久一、岡田英己子 『社会福祉思想史入門』勁草書房、2000 年
- 5) ネル・ノディングズ 『ケアリングー倫理と道徳の教育 女性の観点から』晃洋書房、1997 年

8 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 180 分程度必要です。

第 2 回で学ぶ倫理理論はその後毎回使うので、第 3 回以降は講義前に倫理理論の復習をしておくこと。

各回かならず記述式の質問カードが配布されるので、講義の後でじっくりと考えて自分の言葉で記載し提出すること（生成 AI の使用は不可とします）。

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

質問カードの採点結果は Google クラスルームでフィードバックする（すぐに採点が出来ない場合もあるが、学期末の成績評価までには全てアップロードする）。

10 履修上の注意事項

質問カードの考察課題は自分の言葉で考えるようにして下さい。論理的な倫理推論の練習をすることが講義の目的ですので、手間をはぶいて生成 AI を使用すると実力が全くつきません。この講義では、情報収集の目的以外で生成 AI を利用することは禁止いたします。生成 AI の作成した文書を宿題（質問カード）の回答に直接貼り付けて使用する行為については、これを剽窃（ひょうせつ）とみなして厳正に対処します。悪質な場合は単位を認定しません。

11 オフィスアワー等

木曜日 12:00～14:00

連絡先 kh-honda@kanazawa-med.ac.jp（Google クラスルームのコメント欄にメッセージを記入することも可能）

第1学年

医療倫理

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	12月04日（金）	2	講義	「医療倫理の歴史」	質問カード	一般教育機構	本田教授
後	2	12月11日（金）	2	講義	「現代倫理学の基礎と医療倫理」	質問カード	一般教育機構	本田教授
後	3	12月18日（金）	2	講義	「生殖医療の倫理学」	質問カード	一般教育機構	本田教授
後	4	1月08日（金）	2	講義	「遺伝子診断の倫理学」	質問カード	一般教育機構	本田教授
後	5	1月15日（金）	2	講義	「脳死と臓器移植の倫理学」	質問カード	一般教育機構	本田教授
後	6	1月22日（金）	2	講義	「終末期医療の倫理学」	質問カード	一般教育機構	本田教授
後	7	1月29日（金）	1	講義	「医療資源の配分と医療制度論」	質問カード	一般教育機構	本田教授
後	8(0.5)	1月29日（金）	2	講義	「まとめ：医療倫理と看護倫理」	感想カード	一般教育機構	本田教授
後		2月05日（金）	3	試験	定期試験		一般教育機構	本田教授